



第76回 九州・沖縄生殖医学会

学術集会長

沖 利通

鹿児島大学医学部保健学科 成育看護学講座 教授

● 第76回 九州・沖縄生殖医学会 ●

日 時：2019年4月7日(日)

評議員会 8時45分～9時15分

総 会 9時15分～9時25分

会 場：**エルガーラホール**

福岡市中央区天神1-4-2

TEL：092-711-1835

学術集会長 **沖 利通**

鹿児島大学医学部保健学科 成育看護学講座 教授

〒890-8544 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

TEL：099-275-5888

FAX：099-275-6752

学術集会長挨拶

第76回九州・沖縄生殖医学会の開催にあたって

鹿児島大学医学部保健学科 成育看護学講座 教授

沖 利通



第76回九州・沖縄生殖医学会を2019年4月7日(日)に開催できますことを皆様に感謝申し上げますとともに、鹿児島大学にとりましても大変名誉なことと存じます。

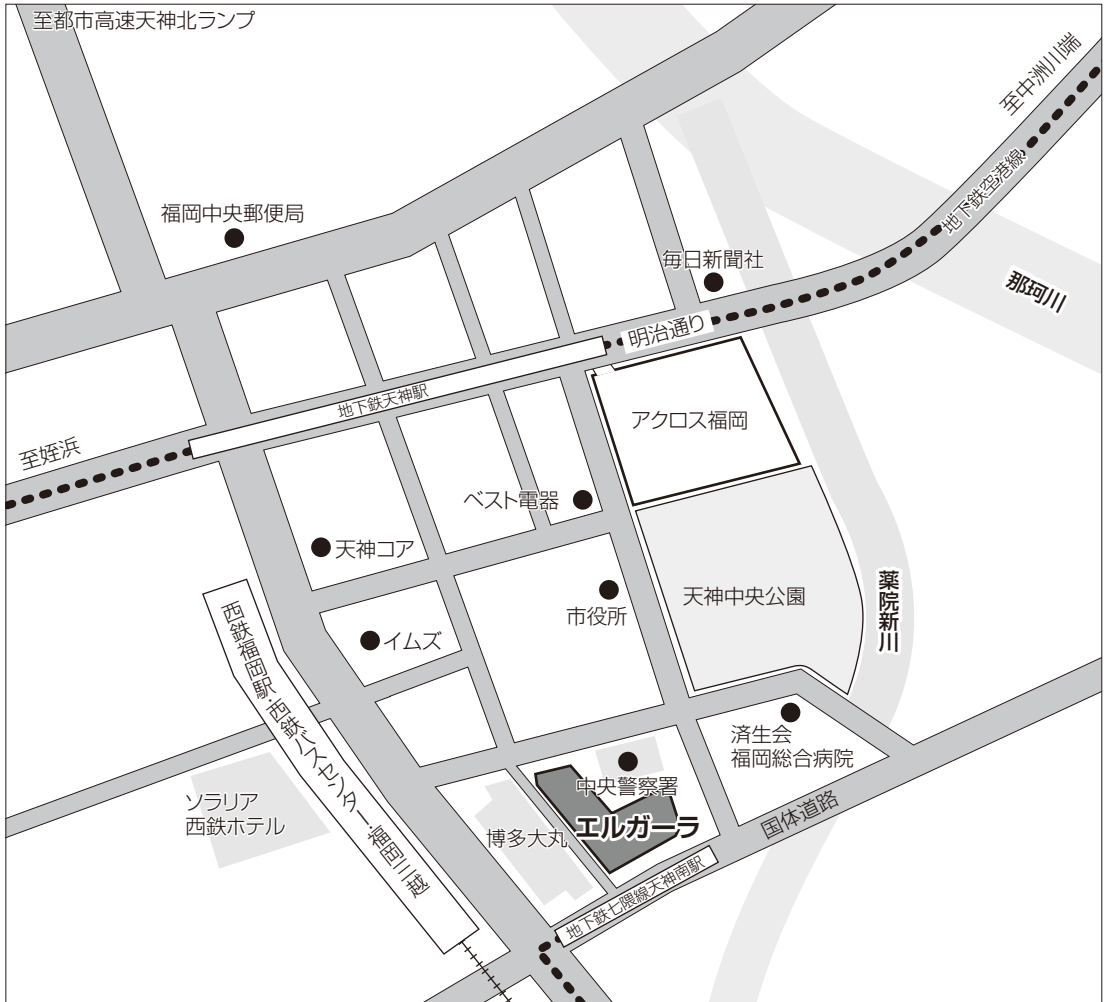
今回は、中川浩次先生をランチオンセミナーの講師にお迎えしました。徳島大学の青野名誉教授・苛原教授・山野教授の下でARTグループのチーフとして、また、国立成育医療センター不妊診療科の一員として長年活躍されてきました。現在は杉山産婦人科新宿の院長をお勤めになり、生殖医療専門医・内視鏡手術認定医として臨床と研究に携わっておられます。臨床に直結する質の高い見識をお持ちの先生で、着床障害に関する講演が楽しみです。

この会の前身である九州生殖内分泌懇話会への初参加は、1990年4月でした。永田先生、堂地先生ら医局員数人で、学会開始の1時間以上前から準備を始めます。パイプ椅子のある簡素な会議室で医師のみ40名程度が参加し、基礎実験や内分泌に関する演題が多かったように記憶しています。パワーポイントがない時代で、ワープロで作成した紙原稿をスライドに現像しなければなりません。スライド係は、ピント調整やスライド送りに遅滞が生じないように、一時も息が抜けず大変でした。

1991年には、鹿児島大学農学部の後藤和文教授が世界で初めて牛での顕微授精を成功させます。産婦人科教室では竹内先生が着床前診断研究の先駆者となり、生殖医療は目覚ましい発展の時代に突入します。その後も、多方面の数々の先輩方や後輩との出会いに恵まれ、生殖内分泌領域ばかりでなく他の様々な領域の知見を深めることができました。一方、ARTの分業も進みました。医師(生殖医療専門医・腫瘍専門医・臨床遺伝専門医・産科医・小児科医)・培養士・看護師・助産師・臨床心理士とそれぞれの本分と役割を果たさねばなりません。チーム医療の確立と教育という視点での研究も必要だと痛感しているこの頃です。

当日は55演題の発表が予定され、大変喜んでおります。しかしながら、例年より発表時間の短縮を余儀なくされ、皆様に負担を強いる結果になってしまいました。最後に、ご参加の皆さま、座長・演者の皆様、そして本学会運営に関わる方々だけでなく、九州・沖縄支部会本部の大分大学産婦人科教室の献身的なご尽力にも心から感謝の意を表します。

交通案内

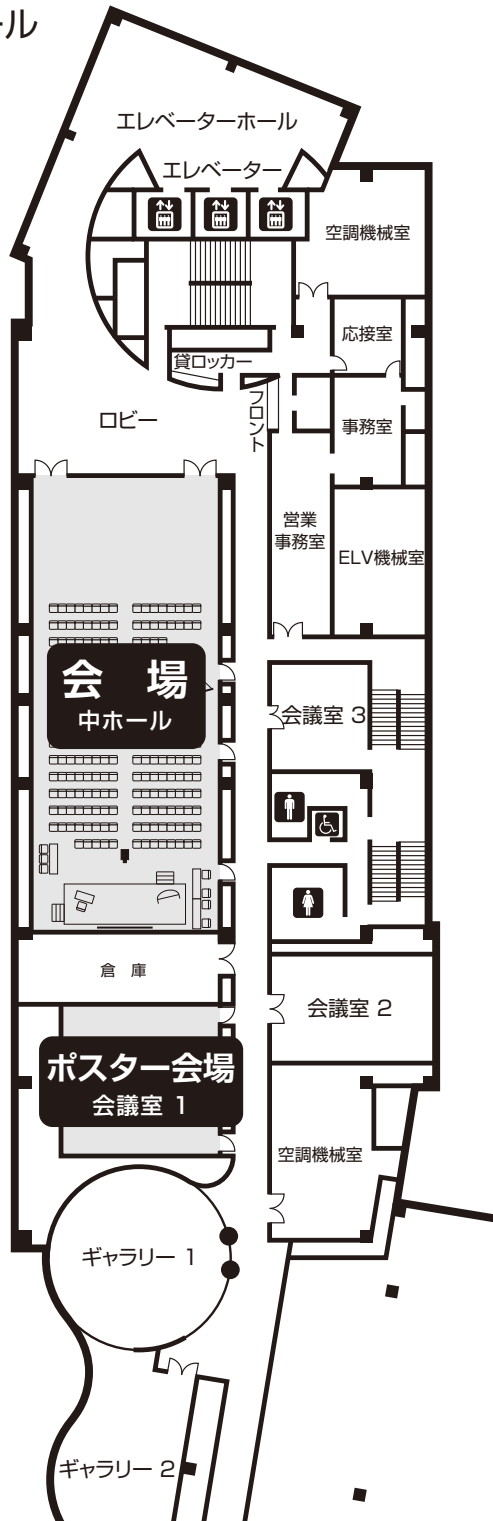


- | | | | |
|---------------|------|----------|----------|
| ●地下鉄空港線天神駅より | 徒歩5分 | ●JR博多駅より | タクシー約10分 |
| ●地下鉄七隈線天神南駅より | 徒歩1分 | ●福岡空港より | タクシー約20分 |
| ●西鉄福岡(天神)駅より | 徒歩2分 | | |
| ●天神バスセンターより | 徒歩3分 | | |

会場案内

エルガーラホール

7F



参加者の方へ

領収書兼用の参加証を参加受付にてお渡しいたしますので、参加証ホルダーに入れて会場内では必ずご着用ください。

- 1 参加費 4,000円
- 2 学会当日にはプログラムを持参してください(プログラムは当日も500円で販売します)。
- 3 質問がある方は予め質問マイクの近くに待機しておいてください。
- 4 当日はクロークがございません。何卒ご了承ください。

日本産科婦人科学会専門医出席証明について

- 第76回九州・沖縄生殖医学会では、学会参加および日本産科婦人科学会専門医研修出席証明(10単位)は、「e医学会カード」(UMINカード)による専門医研修出席証明を行います。会員の皆さまは「e医学会カード」を必ずご持参くださいますようお願い申し上げます。
なお、日本生殖医学会・学術講演会での参加登録におきましては、O&G ICカードを使用しますので「e医学会カード」(UMINカード)は使用しませんが、九州・沖縄生殖医学会ではO&G ICカードではなく、「e医学会カード」(UMINカード)による参加登録となります。
参加登録に使用するカードが違いますので、お間違いのないよう、「e医学会カード」(UMINカード)を必ずご持参ください。
- 日本産婦人科医会研修参加証につきましては、従来どおりのシールでの発行となります。

日本専門医機構単位付与講習[産婦人科領域講習]について

- 機構専門医の認定講習は、ランチョンセミナー開始の10分前から講習参加受付を開始します。講演開始時間10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、原則として機構単位付与はされませんのでご了承ください。
※日本産科婦人科学会専門医制度研修出席証明・日本専門医機構単位登録はe医学会カードで行います。
※e医学会カードを紛失等でお持ちでない方は、運転免許証等でご本人確認の上、登録を行います。

日本生殖医学会生殖医療専門医の方々へ

九州・沖縄生殖医学会については、日本生殖医学会生殖医療専門医更新ポイントが10点加算されます。当日受付にて芳名帳をご用意いたしますので、ご記名をお願いいたします。

座長の先生方へ

- 1** 口演座長の先生方はセッション開始15分前までに、発表会場内前方右手の次座長席にお着きの上、進行係にお声をお掛けください。
- 2** ポスターセッション座長の先生方はセッション開始10分前までに発表会場にお越しください。
- 3** セッションの進行につきましては、座長に一任いたします。
- 4** 発表4分、討論2分、交代1分の計7分を厳守し、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

口演発表者の方へ

- 1** 口演時間はプログラムでご確認ください。
- 2** 発表はパソコン(PC)による発表のみとさせていただきます。必ずパソコンをお持ちください。
会場スピーカーに音声は流せません。
PC受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。
PCによっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。
スクリーンセーバー、省電力設定は事前にご解除ください。
コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
- 3** 発表時間は7分(発表4分・討論2分・交代1分)です。時間厳守でお願いします。

ポスター発表演者の方へ

- 1** ポスターはプログラムに掲載されている演題番号と同じ番号のパネルにご自身で添付をお願い致します。

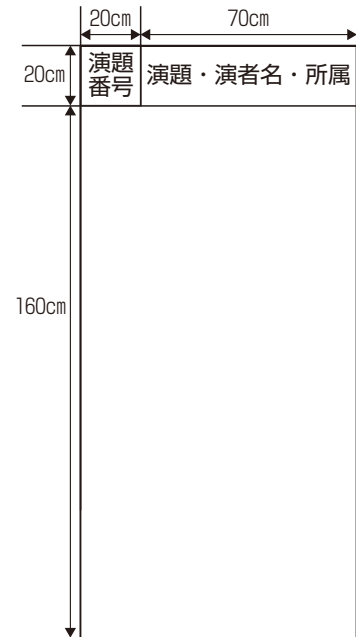
掲示時間 — 8時45分～9時30分の間をお願いします。

撤去時間 — 15時00分～16時00分の間撤去してください。

時間内に取り外されないものは処分します。

2 注意事項

- (1) 最上部の演題番号は運営事務局で用意します。
- (2) 演題名、所属、演者名については横70cm×縦20cmで各自ご用意ください。
- (3) 演題名以外のパネルの有効部分は、横90cm×縦160cmです。内容の配置は自由ですが末尾には必ず結論を記載してください。



- 3** ポスター演題の発表時間の目安は1題7分(発表4分・討論2分・交代1分)とします。基本的には各群に座長をおき、進行は各座長の指示に従ってください。

演題発表時の利益相反開示方法について

口頭発表ならびにポスター発表の筆頭演者は利益相反の有無に関わらず開示をして下さい。

雛形は第76回九州・沖縄生殖医学会ホームページからダウンロードできます。

第76回九州・沖縄生殖医学会 プログラム

日 時：2019年4月7日(日) 8時45分～

場 所：エルガーラホール

評議員会 8:45～9:15

総 会 9:15～9:25

開 会 9:25～9:30

学術集会長 沖 利通(鹿児島大学医学部保健学科 成育看護学講座 教授)

第1群 [卵巣刺激・採卵] 9:30～9:58

座長：山口 貴史(セントマザー産婦人科医院)

O-01 新型低圧採卵針 SENSE の使用経験

○徳永 真梨子、野見山 真理、大淵 紫、有馬 薫、佐護 中、内山 陽子、
古賀 利子、隈本 巧、小島 加代子
高邦会 高木病院

O-02 BMI と各種排卵誘発法との関係についての検討

○永吉 基¹⁾、田中 威づみ¹⁾、大野 基晴¹⁾²⁾、市山 卓彦¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、
田中 温¹⁾
1) セントマザー産婦人科医院、2) 順天堂大学 医学部 産婦人科学講座

O-03 リコンビナント hCG 製剤における投与方法についての検討

○千葉 摩樹子、溝部 大和、鷲津 愛、永浦 ひとみ、古恵良 桂子、
結城 裕之
医療法人 中央レディスクリニック

O-04 Poor responder 患者の卵胞発育誘導のための卵胞活性化療法 (IVA : Invitro Activation) の改良に関する検討

○田中 温¹⁾、田中 威づみ¹⁾、永吉 基¹⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、市山 卓彦¹⁾²⁾、
大野 基晴¹⁾²⁾、占部 奈央¹⁾、島田 昌之³⁾、河村 和弘⁴⁾
1) セントマザー産婦人科医院、2) 順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、
3) 広島大学大学院 生物圏科学研究科 陸域動物生産学講座、
4) 国際医療福祉大学 医学部 産婦人科

第2群 [妊孕性温存・妊娠予後] 9:58～10:26

座長：北島 道夫(長崎大学)

O-05 卵子提供妊娠の周産期予後に関する検討

○伊東 裕子、倉員 正光、宮本 新吾
福岡大学 医学部 産婦人科

O-06 小児がん患者に対する妊孕性温存療法として卵巢凍結を施行した一例

○赤嶺 こずえ、宜保 敬也、長田 千夏、大石 杉子、宮城 真帆、
銘苺 桂子、青木 陽一
琉球大学医学部附属病院 産婦人科

O-07 摘出卵巢からの未成熟卵回収および IVM-ICSI を行い妊娠に至った1例

○水本 茂利¹⁾、長尾 洋三¹⁾、水本 真夕²⁾、遠藤 祐子²⁾、江頭 活子²⁾、
矢幡 秀昭²⁾、加藤 聖子²⁾、蔵本 武志¹⁾
1)蔵本ウイメンズクリニック、2)九州大学 産科婦人科

O-08 凍結融解未受精卵子の ICSI 後の再凍結融解胚移植で妊娠・生児を得た急性骨髄性白血病の1例

○詠田 由美、泊 博幸、本庄 考、金原 恵利子、齋藤 研祐、権藤 咲紀、
荒牧 夏美、久原 早織
医療法人 IVF 詠田クリニック

第3群 [男性不妊] 10:26～10:47

座長：内田 洋介(医療法人玉昌会 高田病院 泌尿器科)

O-09 天神つじクリニックにおける oncofertility の現状：がん患者の精子凍結

○庄 武彦、成吉 昌一、辻 祐治
天神つじクリニック

O-10 hCG+rFSH 療法により妊娠できた Kallmann 症候群の2例： 精巣内部 US 像の経時的観察

○成吉 昌一、庄 武彦、辻 祐治
天神つじクリニック

O-11 抗酸化物質添加精子調整液を用いた人工授精時の精液所見への影響の検討

○北上 茂樹、萩原 美聖、黒岩 しおり、和泉 杏里紗、永石 綾、植村 智子、
古賀 剛、古賀 文敏
古賀文敏ウイメンズクリニック

第4群 [媒精・ICSI] 10:47～11:08

座長：古賀 文敏(古賀文敏ウイメンズクリニック)

O-12 先体反応誘発法の検討

○竹本 洋一¹⁾、田中 威づみ¹⁾、大野 基晴¹⁾²⁾、市山 卓彦¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 温¹⁾、渡邊 誠二³⁾、島田 昌之⁴⁾

1)セントマザー産婦人科医院、2)順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、

3)弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座、

4)広島大学大学院 生物圏科学研究科 陸域動物生産学講座

O-13 遠心フリー運動精子選別装置 MIGLIS の有効性

○後藤 美緒、水本 茂利、長尾 洋三、渡辺 瞳、田中 啓子、仲宗根 巧真、奥田 紗矢香、一木 巴恵、大坪 可奈子、蔵本 武志

蔵本ウイメンズクリニック

O-14 抗酸化物質を添加した培養液は精子の運動性維持に有効である

○一木 巴恵、水本 茂利、長尾 洋三、渡辺 瞳、田中 啓子、仲宗根 巧真、奥田 紗矢香、後藤 美緒、大坪 可奈子、蔵本 武志

蔵本ウイメンズクリニック

第5群 [胚移植・着床1] 11:08～11:29

座長：神山 茂(空の森クリニック)

O-15 汎下垂体機能低下症患者で着床において GH が有効と考えられた1例

○齋藤 研祐、本庄 考、権藤 咲紀、金原 恵美子、泊 博幸、詠田 由美
IVF 詠田クリニック

O-16 当院における Th1/Th2 高値合併反復着床障害症例に対する タクロリムス使用経験

○関岡 友里恵、中村 千夏、松下 ゆうき、西川 寛美、上田 真理奈、池田 早希、大野 りおん、木下 和雄、小山 伸夫

医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

O-17 凍結融解胚移植における黄体ホルモン製剤の種類と 着床率・流産率の検討

○権藤 咲紀、本庄 考、齋藤 研祐、金原 恵利子、泊 博幸、詠田 由美
IVF 詠田クリニック

第6群 [胚移植・着床2] 11:29～11:57

座長：銘苺 桂子(琉球大学医学部 女性・生殖医学講座)

O-18 融解周期における胚グレード別に見た胚盤胞2個移植の成績の比較

○岩下 夢美、末永 めぐみ、篠原 真理子、山口 弓穂、上拾石 富士代、齋藤 千紗乃、永光 理紗、伊藤 正信、松田 和洋
松田ウイメンズクリニック

O-19 Assisted Hatching (AH) 施行後の融解胚盤胞移植において、脱出途中胚盤胞の脱出形態は臨床成績に影響するか

○上拾石 富士代、末永 めぐみ、篠原 真理子、山口 弓穂、齋藤 千紗乃、岩下 夢美、永光 理紗、伊藤 正信、松田 和洋
松田ウイメンズクリニック

O-20 胚移植カテーテルの形状および胚移植時のシリンジ圧が妊娠成績に与える影響

○山本 新吾、松尾 則子、井上 善仁
井上善レディースクリニック

O-21 OHSS 回避のために Letrozol 頓服、GnRHagonist を trigger とした PCO 症例の報告

○大野 基晴¹⁾²⁾、田中 威づみ¹⁾、市山 卓彦¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 温¹⁾、岡本 純英³⁾
1)セントマザー産婦人科医院、2)順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、
3)岡本ウーマンズクリニック

ランチョンセミナー 12:10～13:10

座長：沖 利通(鹿児島大学医学部保健学科 成育看護学講座)

「反復着床不全の対策 ～杉山メソッド～」

中川 浩次 杉山産婦人科新宿 院長

共催：富士製薬工業株式会社

第7群 [凍結・染色体診断] 13:15～13:36

座長：宇津宮 隆史(セント・ルカ産婦人科)

O-22 マウスを用いた卵巣凍結融解法についての検討

○尾畑 俊貴¹⁾、古部 奈央¹⁾、上村 沙耶佳¹⁾、米本 昌平¹⁾、加藤 由香¹⁾、赤星 孝子¹⁾、竹本 洋一¹⁾、大野 基晴¹⁾²⁾、市山 卓彦¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 威づみ¹⁾、田中 温¹⁾、渡邊 誠二³⁾、島田 昌之⁴⁾

1) セントマザー産婦人科医院、2) 順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、

3) 弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座、

4) 広島大学大学院 生物圏科学研究科 陸域動物生産学講座

O-23 凍結胚融解後移植不可能であった胚の背景と染色体数的異常率

○大津 英子¹⁾、小池 恵¹⁾、城戸 京子¹⁾、後藤 香里¹⁾、長木 美幸¹⁾、熊迫 陽子¹⁾、甲斐 由布子¹⁾、加藤 武馬²⁾、倉橋 浩樹²⁾、宇津宮 隆史¹⁾

1) セント・ルカ産婦人科、2) 藤田医科大学 総合医科学研究所 分子遺伝学研究部門

O-24 当院における着床前診断(PGT)の臨床成績

○渡邊 みあ¹⁾、瀬戸山 遙¹⁾、桑鶴 ゆかり¹⁾、黒木 裕子¹⁾、福元 由美子¹⁾、岩川 富貴子¹⁾、竹内 美穂¹⁾、竹内 一浩¹⁾、加藤 武馬²⁾、倉橋 浩樹²⁾

1) 竹内レディースクリニック附設高度生殖医療センター、

2) 藤田医科大学総合医科学研究所 分子遺伝学研究部門

第8群 [胚培養1] 13:36～13:57

座長：瀬戸山 遙(竹内レディースクリニック 高度生殖医療センター)

O-25 タイムラプスにより観察された分割異常の有無による体外発生能の比較

○上原 美奈、中島 章、江頭 昭義、門馬 友香、瀬底 亜里沙、鳩間 咲子、赤嶺 実紗、東 舞、佐久本 哲郎、徳永 義光

医療法人 杏月会 空の森クリニック

O-26 ヒト体外受精における前核形態異常胚の評価

○久原 早織、泊 博幸、國武 克子、内村 慶子、竹原 侑希、下瀬 瞳、權藤 咲妃、齋藤 研祐、本庄 考、詠田 由美

医療法人アイブイエフ詠田クリニック

O-27 第一卵割異常胚を含む周期と含まない周期における第一卵割正常胚の比較

○邑上 沙瑠子、遊木 靖人、佐多 良章、西川 由華里、隈本 正太郎、岩瀬 あい、森下 眞依子、津野 晃寿、平井 佐和子、岩政 仁

医療法人社団ソフィア愛育会 ソフィアレディースクリニック水道町

第9群 [胚培養2] 13:57～14:25

座長：泊 博幸 (IVF 詠田クリニック)

O-28 シングルステップメディウムを用いたヒト胚のアミノ酸代謝の検討

- 熊迫 陽子¹⁾、小池 恵¹⁾、城戸 京子¹⁾、後藤 香里¹⁾、長木 美幸¹⁾、
大津 英子¹⁾、甲斐 由布子¹⁾、杉山 唯²⁾、八尾 竜馬²⁾、宇津宮 隆史¹⁾
1) セント・ルカ産婦人科、2) 扶桑薬品工業株式会社

O-29 培養液の浸透圧上昇がヒト胚発生に与える影響について

- 坂村 遥香、泊 博幸、國武 克子、内村 慶子、荒牧 夏美、宮本 佳奈、
權藤 咲妃、齋藤 研祐、本庄 考、詠田 由美
医療法人アイブイエフ詠田クリニック

O-30 ICSIにおける加湿型および無加湿型タイムラプスインキュベータによる発生速度の検討

- 隅田 美優¹⁾、米本 昌平¹⁾、赤星 孝子¹⁾、竹本 洋一¹⁾、田中 威づみ¹⁾、
大野 基晴¹⁾²⁾、市山 卓彦¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 温¹⁾、
渡邊 誠二³⁾
1) セントマザー産婦人科医院、2) 順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、
3) 弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座

O-31 ヒト体外受精において培養方法および pH 測定器の変更が培養液の至適 pH に及ぼす影響について

- 宮本 佳奈、泊 博幸、國武 克子、内村 慶子、久原 早織、坂村 遥香、
權藤 咲妃、齋藤 研祐、本庄 考、詠田 由美
医療法人アイブイエフ詠田クリニック

第10群 [子宮内膜症・その他] 14:25～14:46

座長：本田 律生 (熊本大学)

O-32 異好抗体を有した膠原病合併不妊症の1例

- 中島 章¹⁾、濱川 伯楽¹⁾、町田 美穂¹⁾、寺田 陽子¹⁾、神山 茂¹⁾、
高山 尚子¹⁾、徳永 義光¹⁾、佐久本 哲郎¹⁾、北原 慈和²⁾
1) 医療法人杏月会 空の森クリニック、2) 群馬大学 産婦人科

O-33 不妊治療中に付属器膿瘍を発症した子宮内膜症合併不妊症の3例

- 永田 幸、村上 直子、北島 道夫、松本 加奈子、福島 愛、北島 百合子、
三浦 清徳、増崎 英明
長崎大学病院

O-34 当科での子宮鏡下手術を施行した中隔子宮症例の検討

○野口 将史、福島 愛、鋳尾 聡子、河野 通晴、吉武 朋子、平木 宏一、
藤下 晃
済生会長崎病院

第11群 [手術] 14:46～15:07

座長：河野 康志(大分大学)

O-35 多量の血性腹水を伴う子宮内膜症の2例

○本田 律生、下川 理沙、楠木 槇、坂口 勲、片渕 秀隆
熊本大学生命科学研究部 産科婦人科学分野

O-36 当院における卵管留水症合併不妊症例に対する 腹腔鏡下卵管摘出術の有用性

○池田 早希、西川 寛美、関岡 友里恵、上田 真理奈、大野 りおん、
松下 ゆうき、中村 千夏、木下 和雄、小山 伸夫
医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

O-37 深部子宮内膜症を安全に切除するためのポイント

○瓦林 靖広、森田 葵、林 魅里、早瀬 千尋、松本 恵、恒松 良祐、
蓮尾 泰之、小川 伸二
国立病院機構 九州医療センター 産科婦人科・臨床研究センター

閉 会 15:14～

九州・沖縄生殖医学会会長挨拶 梶原 久司(大分大学医学部産科婦人科 教授)

次期学術集会長挨拶

学術集会長挨拶 沖 利通(鹿児島大学医学部保健学科 成育看護学講座 教授)

P-01 3D SonoAVC を用いた Antral follicle における
Numeric count, Diameter count, Volume count の評価

○大川 彦宏¹⁾²⁾³⁾⁵⁾、有村 賢一郎¹⁾³⁾、下鶴 千加子¹⁾、松木 裕枝¹⁾、
季松 由美¹⁾、森田 哲夫¹⁾³⁾、平川 豊文⁴⁾、大川 欣栄¹⁾³⁾、河野 康志⁵⁾、
楢原 久司⁵⁾

1)大川産婦人科・高砂、2)大分県立病院 産婦人科、3)大川産婦人科病院、
4)福岡大学病院 産婦人科、5)大分大学病院 産婦人科

P-02 乳癌症例に対しアロマトーゼ阻害薬併用調節卵巣刺激を施行し
卵巣過剰刺激症候群を発症した多嚢胞性卵巣症候群の2例

○大石 杉子、銘荊 桂子、宜保 敬也、長田 千夏、宮城 真帆、赤嶺 こずえ、
青木 陽一

琉球大学大学院医学研究科 女性・生殖医学講座

P-03 当科における妊孕性温存を目的とした精子凍結保存の現状について

○宜保 敬也

琉球大学 医学部 産科婦人科

P-04 夫年齢からみた配偶者間人工授精(AIH)の成績検討

○原田 枝美、河野 康志、山下 由貴、梶原 由衣、古川 雄一、楢原 久司
大分大学 医学部 産科婦人科

P-05 人工授精において妊娠を左右する精液所見について

○酒瀬川 琢¹⁾、沖 利通¹⁾²⁾³⁾⁴⁾、沖 知恵¹⁾、内田 那津子¹⁾、樋渡 小百合¹⁾、
山崎 英樹⁵⁾、小林 裕明¹⁾

1)鹿児島大学 医学部 産婦人科学教室、2)鹿児島大学 医学部 保健学科 生育看護学講座、
3)鹿児島大学病院 漢方診療センター、4)鹿児島大学病院 下垂体疾患センター、
5)鹿児島市医師会病院 産婦人科

P-06 当院における反復着床不全に対する ERA (Endometrial Receptivity
Analysis；子宮内膜受容能検査)の有用性の検討

○小川 尚子

蔵本ウイメンズクリニック

ポスター2 [生殖内分泌・手術] 13:30～14:12

座長：伊藤 正信(松田ウイメンズクリニック)

P-07 すべての不妊治療患者は甲状腺刺激ホルモン(TSH)を 2.5 μ U/ml未満にする必要があるのか？

○古恵良 桂子、坂口 めぐみ、鷺津 愛、千葉 摩樹子、永浦 ひとみ、
溝部 大和、結城 裕之
中央レディスクリニック

P-08 下垂体性性腺機能低下における排卵誘発法の個別化について

○内田 那津子¹⁾、酒瀬川 琢¹⁾、樋渡 小百合¹⁾、中條 有紀子¹⁾、沖 知恵¹⁾、
沖 利通²⁾、小林 裕明¹⁾
1)鹿児島大学 医学部 産科婦人科、2)鹿児島大学 医学部 保健学科 成育看護学講座

P-09 無月経、不妊を伴った副腎皮質癌の一例

○濱川 伯楽、徳永 義光、中島 章、寺田 陽子、町田 美穂、高山 尚子、
石垣 敬子、神山 茂、東 政弘、佐久本 哲郎
医療法人杏月会 空の森クリニック

P-10 完全型アンドロゲン不応症(Complete Androgen Insensitivity Syndrome)に Gartner 嚢胞を合併した一例

○浦添 千晶
琉球大学医学部附属病院 産婦人科

P-11 アンドロゲン不応症に対し腹腔鏡下性腺摘出術を施行した2症例

○梶原 由衣、河野 康志、竹林 兼利、佐藤 新平、西田 正和、檜原 久司
大分大学 医学部 産科婦人科学講座

P-12 診断に苦慮した ART 後異所性妊娠の一例

○樋渡 小百合¹⁾²⁾、酒瀬川 琢¹⁾、内田 那津子¹⁾、中條 有紀子¹⁾、沖 知恵¹⁾、
沖 利通²⁾、小林 裕明¹⁾
1)鹿児島大学 医学部 産科婦人科、2)鹿児島大学 医学部 保健学科 成育看護学講座

ポスター3 [心理・看護] 13:30～14:12

座長：村上 貴美子(蔵本ウイメンズクリニック)

P-13 ARTにおける自己注射指導 ～アンケート結果と今後の課題～

○谷口 美樹、日高 清美、外島 あゆみ、今井 たかね、山崎 真子、
吉永 明美、倉野 由紀乃、田中 麻美、伊藤 正信、松田 和洋
松田ウイメンズクリニック

P-14 不妊治療と仕事を両立する患者への支援
～「両立支援外来」を開設して～

○久保島 美佳、村上 貴美子、山田 絵美、園田 敦子、徳永 美樹、
今村 奈摘、江隈 直子、安藤 優織江、蔵本 武志
蔵本ウイメンズクリニック

P-15 患者の電子メールを利用した不妊専門クリニックの評価アンケート調査

○田上 亜由美、杉浦 杏奈、田中 みね子、横田 裕子、田浦 洋子、
木下 和雄、小山 伸夫
医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

P-16 当院の体外受精コーディネイトによるカウンセリング実施結果について

○長田 千夏、銘苅 桂子、宜保 敬也、大石 杉子、浦添 千晶、赤嶺 こずえ、
青木 陽一
琉球大学医学部付属病院 産婦人科

P-17 体外受精へのステップアップに関する検討
～体外受精教室前後の比較～

○松土 留美、北田 奈津枝、手島 しおり、越光 直子、後藤 裕子、
甲斐 由布子、宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

P-18 不妊患者における腹腔鏡検査後の心情調査

○手島 しおり、後藤 裕子、甲斐 由布子、宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

一 般 演 題

O-01 新型低圧採卵針 SENSE の使用経験

○徳永 真梨子、野見山 真理、大淵 紫、有馬 薫、佐護 中、内山 陽子、古賀 利子、隈本 巧、小島 加代子

高邦会 高木病院

【目的】 当院では2013年より Vitrolife 社の低圧採卵針 SENSE を使用している。SENSE は、先端から5cmまでが20Gで途中から17Gと内径が拡張しているため、吸引圧を90mmHgまで下げても採卵可能である。2018年5月より先端カッティングの改良により抵抗値がさらに減少し、エコーマークが付き視認性が向上した新型 SENSE を使用する機会を得たので報告する。

【方法】 2017年9月から2018年12月までに調節卵巣刺激を行った690周期のうち、無麻酔で採卵を行い穿刺卵胞数が10個以下である旧型：A群96周期、新型：B群111周期を対象とした。採卵率、変性卵率、正常受精率、採卵時間、腔壁出血・卵巣出血等の合併症を比較検討した。

【結果】 年齢、採卵回数、穿刺卵胞数に差はなかった。穿刺卵胞数あたり採卵率 A群63.7%、B群63.3%、周期あたり採卵率 A群94.8%、B群93.7%、変性卵率 A群0%、B群0.3%、正常受精率 A群68.4%、B群67.6% でそれぞれに有意差はなかった。平均採卵時間 A群 8.3 ± 3.8 分、B群 6.3 ± 3.6 分でB群が有意に短かった($P < 0.01$)。合併症は A群5.2%、B群7.2%で軽微であり差はなかった。

【結論】 新型 SENSE の採卵成績は改良前と変わらず良好であった。刺入時の抵抗感がさらに減少し針がしならないため深部の卵胞穿刺も支障なく採卵可能であり採卵時間が短縮した。

O-02 BMI と各種排卵誘発法との関係についての検討

○永吉 基¹⁾、田中 威づみ¹⁾、大野 基晴¹⁾²⁾、市山 卓彦¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、田中 温¹⁾

1) セントマザー産婦人科医院、

2) 順天堂大学 医学部 産婦人科学講座

【目的】 肥満は、喫煙同様妊娠しにくく、流産しやすい傾向がある。今回 BMI (Body mass index) と各種排卵誘発法との関係について検討した。

【方法】 BMI を A 群 (18.5 未満)、B 群 (18.5 以上 25.0 未満)、C 群 (25.0 以上 30.0 未満)、D 群 (30.0 以上) の 4 群に分類した。排卵誘発法は、Long 法 (L)、Short 法 (S)、GnRH アンタゴニスト (Gn) を行い、臨床成績について検討した。

【結果】

1. 採卵数

35歳未満：A (L13.3, S7.5, Gn10.3)、B (L14.3, S9.2, Gn9.9)、C (L11.3, S7.6, Gn9.8)、D (L11.4, S4.3, Gn9.8)

35歳以上39歳未満：A (L15.2, S8.2, Gn8.1)、B (L13.2, S7.7, Gn8.3)、C (L14.1, S7.4, Gn7.0)、D (L5.4, S5.6, Gn4.9)

2. 妊娠率 (%)

35歳未満：A (L40, S37, Gn31)、B (L39, S36, Gn40)、C (L39, S53, Gn31)、D (L44, S50, Gn29)

35歳以上39歳未満：A (L60, S15, Gn32)、B (L33, S24, Gn33)、C (L50, S23, Gn35)、D (L0, S23, Gn10)

3. 流産率 (%)

35歳未満：A (L9, S14, Gn16)、B (L9, S21, Gn10)、C (L29, S11, Gn18)、D (L0, S0, Gn50)

35歳以上39歳未満：A (L67, S33, Gn27)、B (L13, S24, Gn23)、C (L0, S17, Gn15)、D (L0, S0, Gn0)

B 群を基準とすると 35 歳未満では、A 群 Short 法採卵数、C 群 Long 法採卵数、分割胚数、35 歳以上 39 歳未満では、C 群 GnRH アンタゴニスト法採卵数、D 群 Long 法採卵数、D 群 GnRH アンタゴニスト法採卵数で、有意差を認めた。

【結論】 35 歳以上 39 歳未満において、BMI の上昇が採卵数においてのみ有意差が認められた。

九州・沖縄生殖医学会 学術集会長一覧

- 第56回 2000年11月19日 岡村 均 (熊本大学医学部産科婦人科学教室教授)
- 第57回 2001年4月15日 瓦林達比古 (福岡大学医学部産婦人科学教室教授)
- 第58回 2001年10月21日 嘉村 敏治 (久留米大学医学部産科婦人科学教室教授)
- 第59回 2002年4月21日 嘉村 敏治 (久留米大学医学部産科婦人科学教室教授)
- 第60回 2003年4月27日 永田 行博 (鹿児島大学医学部産科学婦人科学)
- 第61回 2004年4月18日 中村 元一 (浜の町病院産婦人科部長)
- 第62回 2005年4月17日 田中 温 (セントマザー産婦人科医院院長)
- 第63回 2006年4月9日 宇津宮隆史 (セント・ルカ産婦人科院長)
- 第64回 2007年4月22日 蔵本 武志 (蔵本ウイメンズクリニック院長)
- 第65回 2008年4月27日 堂地 勉 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科生殖病態生理学教授)
- 第66回 2009年4月26日 楢原 久司 (大分大学医学部産科婦人科学教授)
- 第67回 2010年5月9日 増崎 英明 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科産科婦人科学教授)
- 第68回 2011年4月24日 詠田 由美 (IVF 詠田クリニック院長)
- 第69回 2012年4月22日 片渕 秀隆 (熊本大学大学院生命科学部産科婦人科学教授)
- 第70回 2013年4月21日 青木 陽一 (琉球大学大学院医学研究科環境長寿医学女性・生殖医学講座教授)
- 第71回 2014年4月27日 井上 善仁 (国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 産婦人科部長)
- 第72回 2015年7月26日 宮本 新吾 (福岡大学医学部産婦人科学教室)
- 第73回 2016年4月10日 藤下 晃 (済生会長崎病院産婦人科)
- 第74回 2017年4月9日 小島加代子 (医療法人社団 高邦会 高木病院)
- 第75回 2018年4月15日 加藤 聖子 (九州大学大学院医学研究院生殖病態生理学(婦人科学産科学)教授)
- 第76回 2019年4月7日 沖 利通 (鹿児島大学医学部保健学科成育看護学講座)
-

第76回九州・沖縄生殖医学会

学術集会長：沖 利通

発行者：鹿児島大学医学部保健学科 成育看護学講座
〒890-8544 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
TEL：099-275-5888 FAX：099-275-6752

事務局：大分大学医学部産科婦人科学教室
〒879-5593 大分県由布市狭間町医大ヶ丘1-1
TEL：097-586-5922 FAX：097-586-6687

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

